

# 定例記者会見資料



公立大学法人  
島根県立大学

○日 時	平成25年8月9日(金) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p><b>【3キャンパス共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「地(知)の拠点整備事業」について……………[資料1]</li> <li>・島根県災害ボランティア隊への学生の参加について……………[資料2]</li> </ul> <p><b>【浜田キャンパス・松江キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府青年海外派遣事業派遣者の壮行会の開催について……………[資料3]</li> </ul>
○資料提供項目	<p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について……………[資料4]</li> <li>・大学間連携ソーシャルラーニングに係る新規授業の開講について……………[資料5]</li> </ul> <p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市弥栄町における中山間地域包括ケア学習について……………[資料6]</li> <li>・いずもサマースクール(SS)2013の実施について……………[資料7]</li> <li>・平成25年度島根県がん相談員等地区研修会(西部研修会)の開催について…[資料8]</li> </ul> <p><b>【松江キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度後期科目等履修生・聴講生の募集について……………[資料9]</li> <li>・キラキラ☆ドリームプロジェクト公開審査会の結果について……………[資料10]</li> </ul>
○行事予定	<p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス(看護学部対象)……………8月17日(土)</li> <li>・石見A0入試(一次選抜)……………9月6日(金)</li> </ul>

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。  
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200  
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200  
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



※次回の定例記者会見は 平成25年9月11日(水) 13:30から開催します。

マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成 25 年 8 月 9 日  
島根県立大学事務局  
担当者 齋藤  
電話：0855-22-2200

### 平成 25 年度「地（知）の拠点整備事業」について

文部科学省所管の平成 25 年度「地（知）の拠点整備事業」において、本学が申請していた「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業が平成 25 年 8 月 2 日付けで採択されました。

#### 記

1. 「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」の概要  
別紙 1 のとおり
2. 採択状況  
別紙 2 のとおり

#### <参考>

地（知）の拠点整備事業の概要  
別紙 3 のとおり



公立大学法人  
島根県立大学



島根県立大学  
マスコット  
キャラクター  
オロリン

# 取組みの概要

## 地域と大学の共育・共創・共生に向けた 縁結びプラットフォーム



### 現在の地域問題・課題

- ✓人口減少・少子高齢化・過疎化
- ✓安心・心豊かな地域社会の構築
- ✓連携促進による人材・産業の育成

### 現在の大学課題

- ✓3キャンパスの連携強化
- ✓地域連携の目標・成果の体系化
- ✓地域での学習・教育活動の体系化

### ニーズ 学べる機会 連携

NPO 地元企業 自治体

### 縁結びプラットフォーム

#### 共育

- ①地域人材育成機能
- ②学生による  
連携交流開拓機能

#### 共創

- ③機会・知見・課題・成果の  
総合窓口機能
- ④研究成果還元および  
専門知見集積機能

#### 問題解決 政策提言

出雲C

#### 共生

- ⑤地域間の情報発信・共有機能
- ⑥伝統文化歴史の維持・発展機能

政治  
行政  
経営  
経済  
浜田C

健康  
医療  
福祉  
出雲C

健康  
保育  
文化  
観光  
松江C

3キャンパスのシーズ  
専門性を活かした地域課題解決力

### 持続可能な共生社会の実現

#### 次世代の共生社会

- ✓課題に対する継続的な取組
- ✓育成人材の活動とネットワークによるさらなる活性化
- ✓地域・分野・主体の横断・連携強化
- ✓地域の自立と自律のための仕組みづくり

#### 産業育成

- ✓地域イベント、伝統文化への学生参加による集落・商店街の賑わいの創出
- ✓地域ニーズに対応した自治体への総合的政策提言
- ✓地場産品・地産地消促進のための学生の取組

#### しまね地域マイスターを認定した人材の輩出

- ✓地域事情に精通し、課題対応できる人材(産業界)
- ✓地域の集落・福祉マネジメント(行政)
- ✓地域をつなぐコーディネータ(NPO)
- ✓保健・医療・福祉のプロフェッショナル(医療福祉)

#### 地域再生・活性化

- ✓高齢化・過疎化する地域に学生を送り出し世代交流と活力をもたらす集落支援事業
- ✓伝統文化歴史、伝統工芸など地域特性を活かした高齢者・若者の雇用創出
- ✓安心して暮らせる医療・福祉、在宅介護支援の確立

## 平成25年度 地(知)の拠点整備事業 申請・採択状況

## (1) 申請・採択件数

申請区分	単独		共同		合計	
	申請数	採択数	申請数	採択数	申請数	採択数
件数	299	48	20	4	319	52

## (2) 設置形態別申請・採択大学等数

申請区分		単独		共同		合計	
		申請数	採択数	申請数	採択数	申請数	採択数
大学	国立	48	20	3	2	51	22
	公立	51	11	7	3	58	14
	私立	164	14	16	1	180	15
	小計	263	45	26	6	289	51
短期大学	公立	2	0	6	1	8	1
	私立	22	2	10	0	32	2
	小計	24	2	16	1	40	3
高等専門学校	国立	12	1	1	1	13	2
	公立	0	0	0	0	0	0
	私立	0	0	0	0	0	0
	小計	12	1	1	1	13	2
合計	国立	60	21	4	3	64	24
	公立	53	11	13	4	66	15
	私立	186	16	26	1	212	17
	合計	299	48	43	8	342	56

# 地（知）の拠点整備事業（COC事業）とは

別紙3

## 地（知）の拠点整備事業（大学COC（Center of Community）事業）

### 背景 <大学等に対する期待>

- 大学等の教育研究が、地域の課題解決に十分応えてほしい。 ○学生が大学等で学んだことが、地域に出てから役立ってほしい。
- 地域と教員個人のつながりを超え、大学等が組織として地域との連携に取り組んでほしい。

平成25年度予算案 23億円（新規）

### <大学等が地域の課題解決に取り組む意義・効果>

- ◎地域の再生・活性化に貢献
- 大学等の教育研究が、より地域の現実的な課題を直視したものとなる。
- フィールドワーク等を通じて、学生が地域の現実の課題解決に参加することで実践力を育成。学習する意欲も刺激。
- 大学が組織として地域と連携することで、大学等の様々な資源が有機的に融合。課題解決に向けた教育研究活動が活性化。

### 事業目標

大学全体として地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等（短大・高専を含む）を支援することで、大学のガバナンス改革を進めるとともに、各大学の強みを活かした大学等の機能別分化を推進

### 支援対象

大学内の全組織が有機的に連携し、「地域のための大学」として全学的に教育課程の見直しを含む地域再生・活性化のための取組を進め、将来的には教育力リキウム・教育組織の改革等につなげる取組。  
地域の課題（ニーズ）と大学等の資源（シーズ）のマッチングにより、自治体及び大学等はそれぞれ複数・単独で実施。

### 支援条件

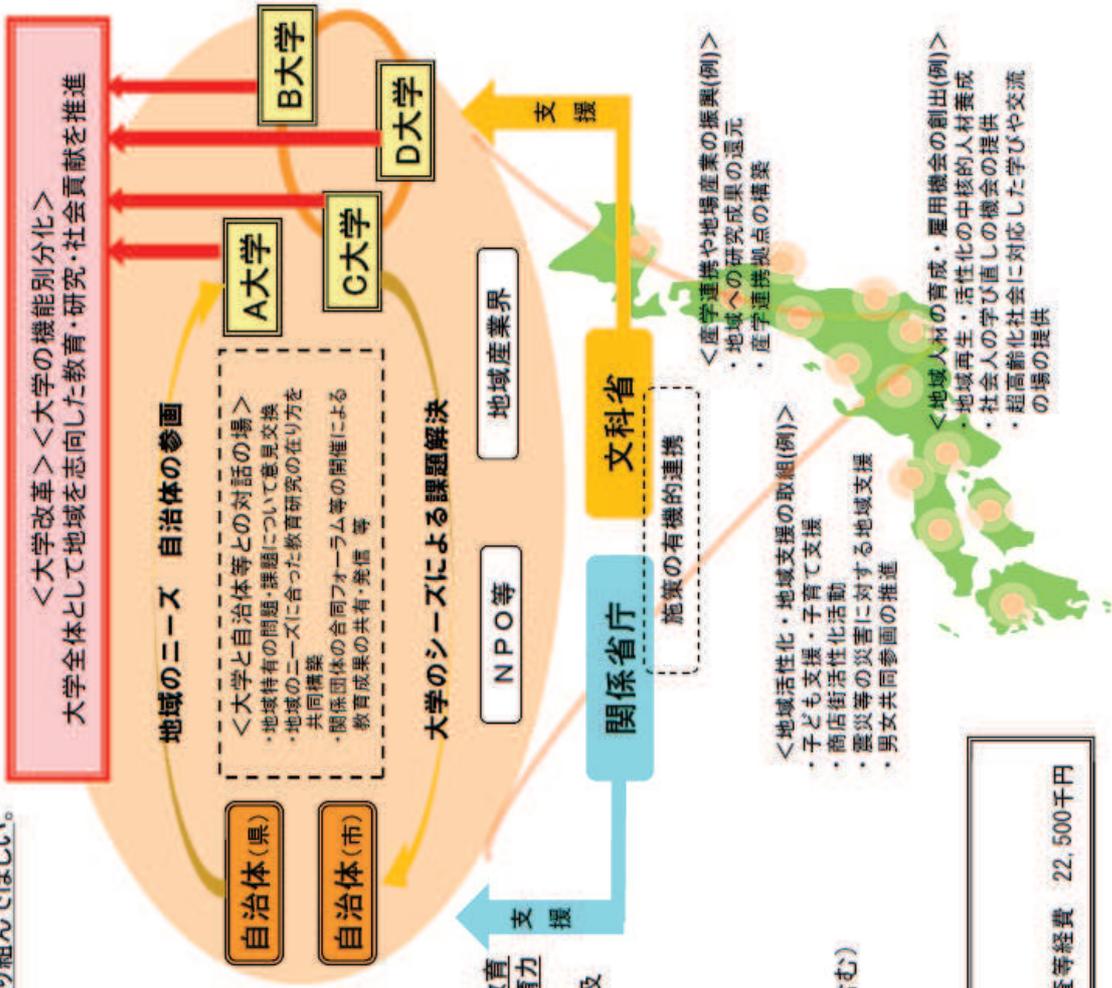
- ①大学等において全学的な取組への位置付けの明確化
  - ②大学等の教育研究と一体となった取組・教育研究への反映
  - ③大学等と自治体が協定を結び組織的に関与
  - ④対話の場の設定 ⑤これまでの地域との連携の実績
  - ⑥自治体等からの一定の経済的支援（土地の無償貸与、人員の派遣等を含む）
- マッチングファウンド方式 —

### 支援件数・金額

平成25年度予算案 2,272,500千円

○45,000千円 × 50拠点

※審査等経費 22,500千円



平成 25 年 8 月 9 日  
公立大学法人島根県立大学  
担当：地域連携課 楨野  
(電話：0855-24-2396)

### 「島根県災害ボランティア隊」への学生の参加について

社会福祉法人島根県社会福祉協議会が「いわて GINGA-NET」と連携して実施する「島根県災害ボランティア隊」に島根県立大学生が参加するにあたって、出発式を下記のとおり行います。

#### 記

1. 日時 第 1 クール 平成 25 年 8 月 20 日 (火) 14:45~  
第 2 クール 平成 25 年 8 月 27 日 (火) 14:45~
2. 場所 島根県立大学 本部棟玄関前
3. 参加学生 (出発式は浜田キャンパスの学生のみ参加します。)  
第 1 クール 4 名 (浜田 2 人・出雲 1 人・松江 1 人)  
第 2 クール 10 名 (浜田 6 人・出雲 4 人)
4. 出発式次第
  - (1) 開式
  - (2) 学長激励の言葉
  - (3) 参加学生代表者のあいさつ
  - (4) 閉式 ※写真撮影

#### 〔参考〕

島根県社会福祉協議会募集の「島根県災害ボランティア隊」については、別添資料を参考にしてください。



# 東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」募集要項

## 1 趣 旨

島根県社会福祉協議会（以下「本会」といいます。）では、東日本大震災発災後27回にわたり「島根県災害ボランティア隊」を編成し延べ647名の県民を宮城県及び岩手県内の被災市町へ派遣してきました。

被災地では復興への兆しも見られるものの、今なお多くの方が応急仮設住宅での生活を余儀なくされるなど、長期にわたる様々なボランティア支援が求められています。

一方、県内では、この未曾有の大災害に対して力になりたいという大学生等が数多くおり、大学等も夏季休暇に向けて、学生のボランティア活動を応援しようという機運が高まっています。

こうした被災地の要支援ニーズと大学生等のボランティアニーズをつなぐため、「いわてGINGA-NET※」との連携のもと、県内に居住する大学生等によるボランティア隊を編成し、岩手県内の被災市町に派遣します。

### ※「いわてGINGA-NET」

- 平成23年11月に岩手県立大学の学生有志を中心に発足したNPOで「学生による沿岸部への継続的な支援」をめざして活動を開始した。
- 岩手県内の市町社会福祉協議会との連携のもとに集約した現地ボランティアニーズから、学生にふさわしいボランティア活動を提供する。

## 2 活動地域

岩手県内の被災市町（大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町ほか）

## 3 活動期間・行程

○第1クール 平成25年8月20日（火）～ 8月27日（火）

○第2クール 平成25年8月27日（火）～ 9月 3日（火）

第1日（火）	15:00	浜田市内発 ～大型バスで移動（車中泊）～
	17:00	（経由） 出雲市内発
	18:00	（経由） 松江市内発
第2日（水）	13:00	岩手県住田町（GINGA-NET住田基地）着
	13:00～13:30	オリエンテーション（施設利用・日程説明）
	13:30～20:00	沿岸部視察、活動地域下見
	20:00～	オリエンテーション（翌日の活動準備等）
第3日（木）	8:30～16:00	ボランティア活動
	16:00～19:30	宿舎へ移動（入浴施設・コンビニ）
	19:30～	宿舎着（食事・活動の振り返り・翌日の活動準備等）
第4日（金）		※第3日と同様
第5日（土）		※第3日と同様
第6日（日）		※第3日と同様
第7日（月）	9:00～11:00	期間中の活動振り返り・まとめ
	12:00～	住田町出発 ～大型バスで移動（車中泊）～
第8日（火）	6:00	（経由） 松江市内着
	7:00	（経由） 出雲市内着
	9:00	浜田市内着

\*行程は変更になる場合があります。

## 4 活動内容

「いわてGINGA-NET」が準備したボランティア活動

(主な活動：応急仮設住宅でのサロン活動、子どもの学習支援など)

※長期の活動になることから、体調が悪い方、体力に自信のない方はお申し込みをお控えください。

## 5 募集人員【島根県に在住する大学生又は専門学校生】

○第1クール 平成25年 8月20日(火)～ 8月27日(火)・・・募集人員25名

○第2クール 平成25年 8月27日(火)～ 9月 3日(火)・・・募集人員25名

※原則として参加申込順とします。

※希望者多数の場合は調整をさせていただきます。

## 6 参加費

18,000円(いわてGINGA-NETの正会員及び賛助会員の方は16,000円)

[上記代金に含まれるもの]

○食事代：2日目の夕食、3日目から6日目までの朝昼夕食、7日目の朝食

○入浴代：2日目から6日目まで5日分

○宿泊費：2日目から6日目まで5日分

○いわてGINGA-NET賛助会費(2,000円)

## 7 服装・持参品

[持参いただきたいもの]

- ・1週間分の着替え(現地で洗濯はできません) ・宿泊施設で着る着替え(ジャージ等)
- ・長袖など羽織れるもの(夜間は涼しいので上に羽織れるものを1枚程度持参)
- ・寝袋(寝具類は各自でご持参ください) ・タオル、バスタオル、衛生用品、風呂用品
- ・リュックサックなど活動日に移動する際のバッグ ・ノート、ペンなどの筆記用具
- ・ハンガー、洗濯バサミ(タオル、バスタオル類を干す用) ・懐中電灯 ・雨具(傘、カッパ等)
- ・水筒 ・マスク(被災地での粉塵対策用。コンビニで手に入るもので可)
- ・電源タップ(携帯電話等の充電の場合) ・健康保険証

[その他(個々人で必要であれば)]

- ・貴重品を身に着けるための、小さなウエストポーチやポシェットなど
- ・軽食(現地到着後に食事は支給されますが、お好きな嗜好品など)
- ・常備薬(基本的なものは、GINGA-NET側で用意されています)
- ・暑さ対策品(冷えるマフラーや塩分+カリウム、保冷水筒等)
- ・まくら(必要であれば) ・耳栓(就寝時に音が気になる方)
- ・日焼けが気になる方は、日焼け対策(日焼け止め、帽子等)
- ・ビタミン、サプリなど(必要であれば)

[ご持参いただかなくてよいもの]

- ・長靴 ・軍手、ゴム手袋 ・ゴーグル
- ※泥かきや家屋整理の活動はしませんので、長靴などは不要です。

## 8 保険加入

参加者には、ボランティア活動保険に加入していただきます。保険加入料は本会で負担します。

## 9 留意事項

- (1) 現地の受入方針の変更等により、派遣を中止する場合があります。
- (2) 自己責任・自己完結を原則とし、被災地に負担をかけないようにするとともに、被災された方の心情に配慮した言動、行動に心がけてください。
- (3) 雨天・余震等の関係で、やむを得ず活動が中止になる場合があります。
- (4) 初日と最終日は、バスの中で車中泊となります。移動中の食事は、高速道路のサービスエリアが利用できます。

## 10 宿泊施設等

宿泊場所：五葉地区公民館（〒029-2501 岩手県気仙郡住田町上有住字中埜63）  
入浴施設：五葉公民館近隣の施設を利用する。

## 11 参加申込み、問い合わせ先

別紙参加申込書に必要事項を明記の上、郵送、電子メール又はファクシミリでお申し込みください。

＜申込期限＞ 平成25年7月19日（金）※申込用紙必着

社会福祉法人島根県社会福祉協議会（島根県ボランティア活動振興センター） 〒690-0011 島根県松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根 （電話）0852-32-5955 （FAX）0852-32-5982 *電話での対応は、土日祝を除く午前8時30分から午後5時まで （メール）voc@fukushi-shimane.or.jp
---

平成 25 年 8 月 9 日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
国際交流課 担当者：大畑  
電話：0855-25-9063

## 内閣府青年海外派遣事業派遣者の壮行会の開催について

島根県立大学では、グローバル社会に対応した人材育成を目的に、積極的に海外派遣事業に参加する学生の支援に取り組んでいる。

内閣府が行う青年の国際交流事業は、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的に、昭和 30 年代から実施されているが、本学はこの事業に参加する学生の支援を、平成 23 年度から開始している。

この度、今年度派遣される学生が決定し、壮行式および助成金の授与をおこなう。

### 記

#### 1. 日時＜会場＞

##### ・浜田キャンパス

平成 25 年 8 月 20 日（火）13:30～13:50＜本部棟 2 階特別応接室＞

##### ・松江キャンパス

平成 25 年 8 月 21 日（水）13:00～13:20＜松江キャンパス学長室＞

#### 2. 対象学生（3名）

##### ① 国際青年育成事業（カンボジア）【9月6日～9月23日18日間】

3年生 福田智之（ふくだ ともゆき）総合政策学部（浜田キャンパス）

##### ② 日本・韓国青年親善交流事業【9月3日～9月17日15日間】

2年生 大野 光季（おおの みつき）短期大学部総合文化学科（松江キャンパス）

4年生 上治 陽香（うえじ はるか）総合政策学部（浜田キャンパス）

#### 3. 内 容

- ① 学長から激励の言葉
- ② 奨学金授与
- ③ 参加学生の決意表明



資料提供：平成 25 年 8 月 9 日  
 担当：浜田キャンパス  
 国際交流課 佐草  
 TEL 0855-25-9063

## 寧夏大学外国語学院日本語学科訪問団の来学について

本学と、交流協定を締結している、中国の寧夏（ねいか）大学外国語学院日本語学科訪問団（学生 10 名・引率 1 名）が来学し、学長表敬と学生交流を行います。

本学訪問は、昨年につき平成 17（2005）年以来通算 8 回目（島根県への訪問は、平成 10（1998）年以来通算 11 回目）となります。

26 日（月）、昼頃本学に到着し、学長表敬、本学学生約 10 名とともに浜田市内の観光地を散策したり、食事をしたりしながら交流を深める予定です。

### 記

- |            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 1 訪問日      | 平成 25 年 8 月 26 日（月）～28 日（水）   |
| 2 訪問団・訪問日程 | 別紙のとおり                        |
| 3 主催・受入団体  | 日本寧夏友好交流協会（連絡先：070-5057-5442） |

### 寧夏大学の概要

- 寧夏回族自治区に位置する、国家重点大学の一つ。
- 創立年：1958 年
- 学生数：約 30,000 名
- 学部数：23 学部（人文、政治法律学、外国語学、経済管理学、化学、生命科学、農学、教育科学等）

本学とは、平成 16（2004）年 10 月に交流協定を締結。2002 年から毎年の寧夏回族自治区出身学生（多くは寧夏大学出身者）を受け入れ、現在 4 名が在籍（学部生 2 名・大学院生 2 名）している。



島根県立大学  
 マスコット  
 キャラクター  
 オロリン

## 寧夏大学外国語学院日本語学科 訪問団名簿

姓名	フリガナ	性別	所属	備考
李文軍	リ ブングン	男	寧夏大学外国語学院	副院長 ( 引率者 )
馬 思燕	マ シエン	女	寧夏大学外国語学院 日本語学科 3年生	学生
尹 思丹	イ シタン	女	"	"
張 曉亮	チヨウ ギョウリョウ	男	"	"
王 俊輝	オウ シュンキ	女	"	"
馬 志雪	マ シセツ	女	"	"
劉 雪	リュウ セツ	男	"	"
王 穎	オウ エイ	女	"	"
郜 静	コク セイ	女	"	"
劉 昕璐	リュウ キンロ	女	"	"
王 納	オウ ノウ	男	"	"

## 全体日程概要

月 日	曜日	時間	行動予定	宿泊予定先
8月22日	木	午後	岡山空港 着	島根青少年館(松江市)
8月23日	金	午前 午後	島根大学表敬訪問・学生交流	ホストファミリー宅
8月24日	土	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月25日	日	終日	ホームステイ	ホストファミリー宅
8月26日	月	午前 午後	(移動:松江市⇒浜田市) 島根県立大学表敬訪問 浜田市表敬訪問 島根県立大学の学生・留学生との交流 (昼ヶ浦・夕食懇談会)	県立大学交流センター(浜田市)
8月27日	火	終日	津和野町視察	県立大学交流センター(浜田市)
8月28日	水	午前 午後	松江市長表敬訪問 島根県庁表敬訪問	島根青少年館(松江市)
8月29日	木	午前	(移動:松江市⇒岡山県) 岡山空港 発	

平成 25 年 8 月 9 日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
企画調整室 担当者 齋藤  
電話 : 0855-22-2201

## 大学間連携ソーシャルラーニングに係る新規授業の開講について

### 1. ソーシャルラーニングとは

本取組は、自然・歴史・文化・産業等において、そして地域社会の抱える課題においても共通の基盤を有する山陰地域の5大学・短大（島根大学、島根県立大学、鳥取環境大学、島根県立大学短期大学部、鳥取短期大学）が連携し、地域社会の人材ニーズに応えるというミッションを共有し、地域ステークホルダーとともに「ソーシャルラーニング」を開発する中で、共通課題を解決する試みです。

### 2. 5つのプログラム

- ①知的資源共有プロジェクト
- ②山陰地域フィールド教育開発プロジェクト
- ③アーリー・エクスポージャー・プロジェクト
- ④ICT プロジェクト
- ⑤教育評価プロジェクト

### 3. 県立大学浜田キャンパスで新規に開講する授業

- ①山陰地域フィールド体験学習 （プロジェクト②に関する授業：別紙 1）
- ②地域社会体験 （プロジェクト③に関する授業：別紙 2）

## 『山陰地域フィールド体験学習——弥栄の農林業と暮らし』を開講します

担当教員 島根県立大学 林 秀司

この授業は、中山間地域がかかえる課題について、現地における体験学習等を通して、理解を深めることを目的とします。平成25年度は、島根県浜田市弥栄町における3泊4日の合宿を伴う集中講義形式として実施し、中山間地域の農林業および地域おこしの課題について学びます。



### 事前学習

受講者には、各自、農林業や農村、現地の概要について文献等を用いて学習し、事前レポートにまとめてもらいます(詳細は追って指示します)。提出期限は9月6日(金)を予定しています。

### 合宿形式の実習

9月14日(土)～17日(火)にかけて、間伐体験、稲刈り体験、むら歩きの実践などを行います。また、農業者や地域住民の方などとの意見交換を通して、中山間地域の農林業の現実や集落の資源と地域おこしについて学習します(活動内容は予定です。詳細は追って連絡します)。

なお、9月14日の集合時刻・場所は13時・島根県立大学、17日の解散時刻・場所は12時・島根県立大学とし、宿泊はふるさと体験村(3泊)を予定しています。食費等の費用は受講者の自己負担を原則とします(6,000円程度)。

### 事後学習

個人でレポート等を作成してもらいます。提出期限は9月30日(月)を予定しています。

### ◆受講者数◆

人数・・・島根県立大学(浜田)8名、島根大学3名、島根県立大学短期大学部(松江)3名、  
鳥取短期大学4名

### ◆その他◆

島根大学、鳥取短期大学からの受講者は、単位互換に関する協定書に基づき、本学の「特別聴講学生」として受け入れ、単位を授与することとなります。



# 「地域社会体験」を開講します

担当教員 北村 真紀

この授業は、島根県立大学の学生が入学後の早い段階で県内の行政・企業・文化施設において実習・見学を行い、地域社会に関心を持ち、社会経験を積むことを目的としています。

## ◆授業の進め方◆

事前学習・実習・事後学習の3つの区分に分かれて活動を行います。

### 事前学習

1. 山陰地方・島根県について (eラーニング)
2. 社会に参画する際のマナーについて (eラーニング)
3. 振り返りの重要性について (eラーニング)
4. 実習先の活動(事業)についてのレポートの作成

※eラーニング:インターネット・情報技術を用いて行う学習のことです。

### 実習

企業・団体に出向き、12時間(6時間×2日間)以上の現場での学習

### 事後学習

活動の振り返り(聞き取り面接を含む)

◆実習先(前期) ◆ 受講者3名は全員 浜田キャンパス学生

## ・株式会社 しちだ・教育研究所【江津市江津町】

～世界に広がる七田教育を体感しよう～

やさしい心を育て無限の可能性を引き出す七田式教育。

実習内容は、七田 厚社長の講義「社会に出る前に身につけてほしいこと等」、七田教室モデルレッスン体験、教材製作、校正体験、パンフレット制作、教室告知の方法企画などです。実習は、12時間(6時間×2日)です。

◆実習日:8月22日(木)、9月4日(水)の2回に分けての実習 9時30分～16時30分

◆受講者数:2名

## ・石見ケーブルビジョン株式会社【浜田市竹迫町】

実習内容は、アナウンス、制作、編集など多様となります。

日程、内容は事前の面談・ヒアリングを通して決定します。

◆実習日:調整中

◆受講者数:1名



25年8月9日  
島根県立大学出雲キャンパス  
看護学科 准教授 伊藤智子  
電話 0853-20-0200(代)

## 中山間地域包括ケア学習について ー浜田市弥栄町に4日間滞在しますー

### 1. 目的

看護学生が中山間地域の診療活動や健康づくり活動に参加することで、高齢者の生活背景を踏まえた医療・看護の重要性や高齢者の暮らしを支えるケアについて学ぶ。

### 2. 期間 平成25年8月26日(月)～8月29日(木)

### 3. 参加者

島根県立大学短期大学部看護学科3年次生12名及び教員4名

### 4. 学習の場所

- 1) 浜田市弥栄支所
- 2) 浜田市国民健康保険弥栄診療所
- 3) 弥栄ふるさと体験村 ほか

### 5. 学習内容

弥栄町に3泊4日滞在して、浜田市弥栄支所及び中山間地域包括ケア研修センター(弥栄診療所内)等と連携して、家庭訪問や健康相談への参加、診療所実習等を行う。

### 6. これまでの経緯

本学看護学科の3年次生履修科目「看護特論(老年看護学)」では、少子高齢化が進む島根県の中山間地域における高齢者の暮らしを通して、今後求められる看護について学ぶこととしている。

この滞在型学習は、平成21年度から取り組んでおり、弥栄診療所及び浜田市弥栄支所の保健医療福祉教育関係のスタッフの協力により実施している。中山間地域に求められる看護活動に対する学生の関心を高めることを目的とした企画である。

### 7. 取材申込み

取材希望がある時は、事前に島根県立大学出雲キャンパス 准教授 伊藤まで連絡をお願いします。

平成 25 年 8 月 9 日  
 島根県立大学出雲キャンパス  
 看護学部 准教授 高橋恵美子  
 電話 0853-20-0200 (代)

## いずもサマースクール(SS)2013 の実施について

### 1. 目的・理由

最近、ADHDの子どもに対する心理社会的治療と薬物治療を併用した包括的治療の有効性と必要性が報告されており、すなわち、米国で夏期治療プログラム（Summer Treatment Program：STP）が確立されて、STPの有効性についての知見が集まりつつある。

STPは、行動療法であり、ADHD児の学校適応力の育成が目的であり、①問題解決スキル、②ソーシャルスキル、③学習スキル、④社会規範を守るスキルなどの向上を図っていく。これらのスキルが向上することで、子どもたちの学校生活が過ごしやすいものとなり、自分への自信や自尊感情がはぐくまれることにもつながる。

わが国においても、2005年に久留米市において日本で初めてのSTP(第1回久留米STP)が開催され、既に8年が経過して、多くの有効な結果を出している。そこで、この方法を若干アレンジして取り入れたのが、いずもSSであり、久留米STPの指導者のもと、これまでの3年間に16名の児童を送り出してきた。いずもSSは出雲市立第一中学校とその校区内小学校の教員が中心となり実施し、その他にボランティアとして本学看護学科、公衆衛生看護学専攻学生の協力、出雲市教育委員会の後援を得て、医療、教育、行政が連携しながら試行してきている。

昨年度までは、出雲一中校区の児童を対象としていたが、今年度から出雲市全体に対象を広げ本格的に実施する。

### 2. 開催日時

2013年8月19日(月)～23日(金) 8:55～16:20

### 3. 会場

島根県立大学出雲キャンパス 2号館1階(出雲市西林木町151)

### 4. 主催者

いずもSS実行委員会 実行委員長:山下一也(島根県立大学出雲キャンパス副学長)

### 5. 内容

ちらしを参照

- (1)STPの実施は久留米STPに続いてわが国で2番目の実施である。
- (2)本学では小児看護の分野において、「発達障がいと看護」という科目を看護学部開設に合わせて新設しており、今後の看護師教育においても重要な柱として位置づけている。

### 6. 参加人数

- (1)出雲市内のADHDと診断されている児童 約10名
- (2)スタッフ:島根県立大学出雲キャンパス、出雲市内の小中学校の教職員、看護学科・公衆衛生看護学専攻学生、医師、看護師等 50名

### 7. 取材申込み

取材希望がある時は、事前に島根県立大学出雲キャンパス高橋恵美子または小村智子まで連絡をお願いします。

# いずもSS 2013

ADHD(注意欠如多動性障がい)のある子どもたちのためのSummer School

人の話を聞いたり、何かに集中したり、  
ルールを守ったり、スポーツをしたり、  
友だちをつくったりすることが苦手で  
悩んでいる人たちのために。



Summer Treatment Program (夏期治療プログラム) という、アメリカで20年以上続けられてきた、ADHDの子どもたちのための、包括的治療プログラムがあります。日本では福岡県久留米市が2005年から実施しています。

久留米市での取り組みは、アメリカで開発されたオリジナルのSTPを、日本文化に適したプログラムに修正したもので、「くるめSTP」と呼ばれ、これまで一定の成果をあげています。

そして2010年夏、先進的な「くるめSTP」を参考にしながら、“いずもバージョン”の「いずもSS」がスタートしました。今年は4回目の開催となります。

**主催)** いずもSS実行委員会 島根県立大学大学出雲キャンパス 出雲市立第一中学校  
出雲市立今市小学校 出雲市立大津小学校 出雲市立上津小学校  
**協力)** 出雲市教育委員会 NPO法人くるめSTP

## 目的

- ◆適切な「問題解決力」「社会適応力」「学習力」を獲得する
- ◆子どもたちが援助を必要としていることに対する社会的認知を高める
- ◆対人関係・集団活動・学習場面に関する自尊感情を高める
- ◆保護者に子どもたちとの関わり方を伝える

子どもたちには、「問題解決力」「社会適応力」を身につけることで、友だちとよい関係を作るために必要な社会的認知を育てます。「学習力」を身につけることで学業成績を改善します。大人の指示に従い、課題をやり遂げる力を伸ばし、自信と自尊心を育てます。保護者の皆さんには、子どもたちの前向きな変化を、どう伸ばし、強くし、維持するかを伝えます。子どもたちの、保護者の悩みが少しでも軽くなれば。そして、少しでも多くの人に、少しでも正しく、ADHDのことを知っていただけたら…、それがわたしたちの願いです。

## 実施概要

期 間) 平成25年8月19日(月)～23日(金)

※7月に**事前説明会**を開きます。日程はあらためてお知らせします。

※最終日に**保護者会**を開きます。

会 場) 島根県立大学 出雲キャンパス

対 象 者) 出雲市内の小学校に在籍し、次の条件を満たす子どもたち。

- ① 医療機関からADHDの診断を受けているか、同様の課題が明確に認められる子で、当該学年の学習内容に概ね対応できること。
- ② 小学校3～6年生であること。
- ③ 5日間のプログラムに続けて参加できること。
- ④ 保護者による、会場までの送迎と昼食の準備が可能であること。

募集人数) 10名程度の子どもたちで実施します。

参 加 費) 教材費、レクにかかる費用、保険料等  
3000円程度

申込締切) 平成25年6月28日

スタッフ) 大学、小中学校の教職員及び大学生と、全体を見る医師、看護師、カウンセラーで構成します。



# SSのプログラム

## ① 活動の流れ

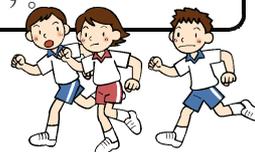
一日は8:55から16:20まで、下の表（活動例）のように活動します。

この活動を1日目から4日目まで行い、5日目には目標の達成度によって、お楽しみ会や奉仕活動があります。



### 活動例

8:55 ~ 9:25	集 合	スタッフが子どもたちと保護者を迎えます。
9:25 ~ 9:40	朝 の 会	コミュニケーションの方法の学習をしたり、前日の活動の表彰をしたりします。
9:50 ~ 10:50	ス ポー ツ	ゲームができるスポーツの練習をします。
11:00 ~ 12:30	学 習	プリント学習やパソコン学習、教え合い学習などをします。
12:40 ~ 13:00	昼 食	子どもたちとスタッフが一緒に食事します。 <u>弁当が必要です。</u>
13:00 ~ 13:15	昼 休 み	子どもたちだけで過ごします。
13:15 ~ 14:15	ス ポー ツ	午前中の練習を生かして、実際にゲームをします。
14:25 ~ 15:25	創 作 活 動	グループで協力して課題に挑戦。何かを作ります。
15:35 ~ 15:50	自 由 時 間	子どもたちと一緒に遊びます。
15:50 ~ 16:20	終 わ り の 会	子どもたちと保護者に一日の活動の報告をします。



## ② ポイントシステム及びDRC

登校から下校までの全てがSSの「活動」です。そして、昼休みを除く全ての活動に「ポイントシステム」を使います。全ての活動には決まりがあります。それを活動ごとに掲示し、確認します。決まりを守るとポイントがもらえ、破るとポイントが減ります。

ADHDの子どもたちは、子ども同士や大人との関わりがうまくいかない経験をするのがしばしばあります。それらの問題点を一つの行動としてとらえ、**プログラムの中でその行動が変容するように促すことで、人との関係をうまく培えるように練習**します。ポイントシステムがうまく機能していくことで、行動は望ましいものへと変わっていきます。

毎日の結果は「報告カード(DRC)」に記録します。結果によっては人前で褒められたり、ご褒美を得ることもあります。毎日の「報告カード」によって、保護者からご褒美を受け取ることもできます。これらは、望ましい行動への変化を**強化**します。強化によって、子どもたちは、**自分の行動を変えようと思いつくようになる**のです。

スタッフは、子どもたち一人一人をサポートしながら、励まし、適切な指示を与えていきます。

### ③ 活動内容

#### 「スポーツ」

ADHDの子どもたちの多くは、「スポーツ」に関する失敗をたくさん経験しています。特に集団競技（野球やサッカー）で失敗を繰り返すことは、子どもたちの自尊感情を低下させるだけでなく、チーム内、仲間内での人間関係にまで影響を及ぼすことになります。

SSでは、ADHDの子どもたちの、「スポーツに関する技術と知識の習得」「仲間内での地位の改善とそれに伴う自尊感情の高揚」を目的としてスポーツを実施します。



#### 「学 習」

「学習」の目的は、子どもたちの学力維持と、学習の場における不適切な行動を修正することです。不適切な行動が減少することで、学習力が改善します。子どもたちの「どうせできない」という学習に対する低い自己評価を、「やればできる」に向上させることにつながります。

学習スタイルには「プリント学習」「教え合い学習」「パソコン学習」の三つがあります。

「プリント学習」は、個人の学力に応じて、計算、国語の視写、読解の課題別プリントをします。誤りや書き忘れがあれば、満点になるまで書き直しをします。

「教え合い学習」は、子どもたちの力に応じた読み物プリントを使い、学年によるグループを作って学習します。マニュアルに従って司会進行をし、決まりを守って音読し、感想を話し合ったり、文章にそった問題について話し合ったりします。こうして、仲間と協力して学習を深めていくために必要な力を身につけます。

「パソコン学習」は、一人1台のパソコンを使用し、決まりを守りながら自分のペースで学習を進めます。



#### 参 考（くるめSTPを体験した方の感想）

##### 保護者

息子の一番の課題である衝動性を少しでもなくすことで、あの子の長所が少しでも前面に出てくるようにとの思いで参加しました。息子に与えられる課題は、とてもハードルが高く、挑戦する日々でした。あの時間のおかげで、考えること、そして努力した後の喜びを知ることができました。さらに、くるめSTPの最終日が近づく頃には「もっとみんなと遊びたい」「もっとみんなと話がしたい」と仲間意識が芽生えたようです。きっと自分と同じように悩み、苦しみ、頑張っている皆さんと過ごした時間が、息子に勇気を与えてくれたのだと思います。私もあんなに多くのことを考え、一つの課題に向かう息子を見たのは初めてでした。そして、あの子の口から「自分が見える」という言葉がありました。私自身も、何かをつかんだのだなど、あの子を見て感じた瞬間を今でも覚えています。

あれから7か月経った今でも、息子は努力の先に喜びがあることを忘れずにいます。失敗して泣いたこともあります。でも、「一度は失敗と言わない」と伝えたと、また目標に向かっていきます。

〈くるめSTPのしおり〉より

##### 教員

これまで、学校の中にあるルールを当たり前のように思い、ルールを破る姿があった時は場当たりに注意してきたように思います。行動目標やルールを視覚的に提示することで、子どもが自分の力で行動を修正し、設定された期間の中で確実に変容していく姿に感動しました。

##### 教員

子どもが下校した後、さまざまな形で開かれるミーティングの場で多くのことを学ぶことができました。学生を含め異なった職種の者が一同に介し、議論を通して学び合うこの過程こそが学びの場であり、互いを理解する良い機会になったと思います。サポーター同士が連帯感を深めたことが大きな財産になって、つながりがまた一つ増えたと思います。

平成 25 年 8 月 9 日  
島根県立大学  
出雲キャンパス  
看護学部 平野 文子  
管理課 岩成奈々恵  
電話 0853-20-0200

「平成 25 年度島根県がん相談員等地区研修会（西部研修会）」の開催について

1. 目的（ねらい）
  - ・事例報告から、地域や病院の強みを理解し、自施設の取組や病院間のさらなる連携につなげる。
  - ・関係者間に認識のズレがある事例を通して、アセスメントの重要性を理解する。
2. 日時  
平成 25 年 8 月 24 日（土） 10:00～16:00
3. 会場  
独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 2 階 総合研修センター  
（浜田市浅井町 777 番地 12）
4. 主催  
島根県  
島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会  
共催  
島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会
5. 内容・対象
  - 1) 内容
    - ・「平成 24 年度がん相談集計」結果報告
    - ・中国・四国ブロック 地域相談支援フォーラム報告
    - ・各病院からの事例報告・意見交換
    - ・グループワーク「関係者間に認識のズレがある事例」より
  - 2) 対象：島根県西部地区の病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師など
6. 出席者・参加人数  
参加人数：約 30 名
7. 参加方法
  - 1) 参加方法  
所定の申込書に必要事項を記入の上、FAXにて「島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局」へ申し込む。

2) 参加費  
無料

8. これまでの経緯や今回の特徴など

この研修会は、島根県委託「がん相談員等資質向上事業」の1つである、「がん相談員研修事業」の一環として行うものです。

この事業も3年目を迎え、病院のがん相談に携わる方にとっては、恒例の研修会として認知されてきております。

7月には、「東部地区研修会」として、東部地区の病院のがん相談に携わる方を対象に、同じプログラムでの研修会を開催しました。

今回の研修会では、がん情報提供促進病院にスポットを当て、がん情報提供促進病院でのがん相談への取組の現状についての報告を共有し、自施設での取組に活かしていただきたいと考えています。

また、午後の研修では、昨年度実施した県内のがん相談に携わる方への調査結果から日頃の実践で難しいと感じている「関係者間に認識のズレがある場合の対応」について、グループワークを通して、アセスメントのプロセスや問題解決のためにがん相談員としてどう支援していくか等、実践に役立つ内容を盛りこみました。



島根県立大学  
出雲キャンパス



島根県立大学  
マスコットキャラクター  
オロリン

## 平成25年度 島根県がん相談員等地区研修会 西部研修会

ねらい ・事例報告から、地域や病院の強みを理解し、自施設の取組や病院間のさらなる連携につなげる。  
・関係者間に認識のズレがある事例を通して、アセスメントの重要性を理解する。

主催 島根県  
島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会

共催 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会

日時 平成 25年 8月 24日（土） 10:00～16:00

会場 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 2階 総合研修センター  
(浜田市浅井町777番地12)

※ご来場の際は、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。

※浜田医療センターの駐車場をご利用の場合は、会場に駐車券をお持ちください。

対象 病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー・看護師など

参加費 無料

その他 受講された方には、受講証書を交付します。

### 【プログラム】

9:30	～	9:50	受付
9:50	～	10:00	オリエンテーション
10:00	～	10:10	開会
10:10	～	10:20	「平成24年度がん相談集計」結果報告
10:20	～	10:40	中国・四国ブロック 地域相談支援フォーラム報告
10:40	～	12:00	各病院からの事例報告 意見交換
12:00	～	13:00	昼食
13:00	～	15:50	グループワーク「関係者間に認識のズレがある事例」より
16:00			閉会

### ※申込締切:平成 25年 8月 8日 (木)

- ・参加を希望される方は、別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ・当日の昼食は各自でご用意ください。  
(会場である総合研修センターでの飲食はできません。所定の会議室または院内の食堂をご利用ください。  
近隣には飲食店もあります。)

問い合わせ先:島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局 安食  
(TEL/FAX:0853-22-6522)

平成  
25年度

# 島根県

# がん相談員等研修会

対象：病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師等

がん相談では、患者と家族、家族と医療スタッフの間に、治療選択や療養生活の過ごし方などに関して、認識のズレを生じることがあります。今年度は、前年度の相談員へのニーズ調査から、日頃の実践で難しいと感じる「**アセスメント**」と「**認識のズレがある場合の対応**」を研修のテーマとしました。

地区研修会では、事例報告から地域や病院の強みを理解し、さらに学びを深めていきたいと思えます。是非ご参加ください。



**参加費無料**

参加には事前申込が必要です。

プログラムの詳細につきましては、県内各病院あてに後日ご案内いたします。

## 地区研修会

### ..... 東部地区研修会 .....

**とき** 平成25年 **7月20日(土)** 10時～16時

**ところ** 松江市保健福祉総合センター（松江市乃白町32番地2）

### ..... 西部地区研修会 .....

**とき** 平成25年 **8月24日(土)** 10時～16時

**ところ** 独立行政法人 国立病院機構浜田医療センター（浜田市浅井町777番地12）

## 中央研修会

**とき** 平成25年 **10月20日(日)**  
9時30分～17時

**ところ** 松江市立病院  
（松江市乃白町32番地1）

中央研修会は  
地区研修会をふまえた  
研修会なので  
両方の参加をお勧め  
するにや。



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

● **講師** 静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター 医療ソーシャルワーカー 主幹 **福地 智巴 氏**

島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)  
平成25年度後期科目等履修生・聴講生の募集について

平成25年8月9日  
島根県立大学松江キャンパス  
教務学生課  
担当：古満，河瀬  
電話：0852-20-0216

平成25年度後期科目等履修生及び聴講生を以下のとおり募集します。

科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、履修科目の試験に合格すると単位を取得できる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

科目等履修生・聴講生の方は、受講したい科目を1つ又は複数選ぶことができ、パートタイムで学習できます。

1. 受講期間 平成25年10月1日(火)～平成26年3月31日(月)

2. 募集人員 各科目若干名

3. 応募資格 次のいずれかに該当する者

【科目等履修生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

【聴講生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 高等学校卒業程度の学力を有する者

4. 出願期間 平成25年8月19日(月)～平成25年8月23日(金) 必着

5. 入学検定料 科目等履修生…9,800円，聴講生…なし

6. 応募方法 募集案内をお取り寄せのうえ、出願方法に従い応募してください。  
(募集案内請求先)

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2  
島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課  
TEL：0852-20-0216

※本学ホームページからも取得可能です。

お知らせ「平成25年度後期科目等履修生・聴講生の募集」からお入りください。

URL：http://matsuec.u-shimane.ac.jp/

7. 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課  
電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150  
電子メール：[gakumu@matsuec.u-shimane.ac.jp](mailto:gakumu@matsuec.u-shimane.ac.jp)

8. 過去の履修生・聴講生の入学状況

	科目等履修生		聴講生	
	前期	後期	前期	後期
平成22年度	0名	0名	3名	3名
平成23年度	2名	2名	0名	2名
平成24年度	0名	0名	0名	3名
平成25年度	1名		0名	



平成25年8月9日  
 島根県立大学短期大学部松江キャンパス  
 担当：教務学生課 古満・雪吹  
 電話：0852-20-0216  
 FAX：0852-21-8150

## キラキラ☆ドリームプロジェクト公開審査会の結果について

本学で実施するキラキラ☆ドリームプロジェクトについて学内で募集をおこなったところ、4組の応募があった。公開審査会を7月9日に実施した結果、以下のとおり採択された。

今後、採択学生は夢の実現に向けて活動を開始する。Facebookには、キラキラ☆ドリームプロジェクト公式ページを開設し、活動の進捗を公開してゆく。

- 審査結果・採択テーマ
  - ✓ キラキラ枠 (10万円以下)
    - ◇ **Let's Go ダーツ de 夢探しの旅プロジェクト【補助額：60,000円】**  
 ダーツで決まる行先で出会う人の夢100人分を集め、その実現の手助けをする
    - ◇ **Come Back to Our Home プロジェクト【補助額：60,000円】**  
 島根にいながら留学気分を味わえる交流の場づくり
  - ✓ ドリーム枠 (30万円以下)
    - ◇ **ご当地絵本製作プロジェクト【補助額：210,000円】**  
 島根のお茶を知ってもらえるオリジナル絵本の製作
    - ◇ **Shimane Specialty Smoothie プロジェクト【補助額：150,000円】**  
 島根県特産品をふんだんに使ったオリジナルスムージー開発～地域イベント参加

- キラキラドリームプロジェクト公式ページ

<https://www.facebook.com/kirakiradream>

(参考)

- 内容：
 

キラキラ☆ドリームプロジェクトとは、今年度から始まった新規事業。学生（個人や団体）が自主的に企画する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助し、夢の実現を支援する事業。
- 審査方法：1組あたり10分間の持ち時間で、自らのプロジェクトをプレゼンテーションする。5人の審査委員により本プロジェクトの主旨・目的にあった提案を選考する。
- 審査会日時：平成25年7月9日（火）17:05～19:05
- 審査会場：島根県立大学短期大学部（松江キャンパス）大講義室
- 事業スケジュール
  - 【5月29日（水）・5月30日（木）】 募集説明会
  - 【6月5日（水）】 企画塾
  - 【6月26日（水）】 応募締切
  - 【7月1日（月）～】 書類審査
  - 【7月9日（火）】 公開審査会（コンテスト）
  - 【7月9日以降】 採択者向けオリエンテーション・金額の査定結果通知⇒事業開始
  - 【10月11日～12日（飛鳥祭にて）】 中間報告会
  - 【1月末】 成果報告会
  - 【1月末】 報告書提出



● 公開審査会の様子

